

リミニストリート、2022年度第1四半期決算を発表

第1四半期収益：9,790万ドル（前年同期比11.4%増）

売上総利益率：62.0%（前年度61.5%から増）

第1四半期請求額：9,770万ドル（前年同期比20.6%増）

営業キャッシュフロー：4,580万ドル（前年比87.2%増）

2022年3月31日現在の顧客数2,884社（前年比13.1%増）

ラスベガス、2022年5月4日-エンタープライズソフトウェア製品とサービスを世界的に提供する、Oracle および SAP ソフトウェア製品の第三者保守サポートの業界リーダーであり、Salesforce のパートナーである Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI) は、本日、第1四半期（2022年3月31日終了）の決算を発表しました。

リミニストリートの共同設立者、最高経営責任者（CEO）兼 取締役会長である Seth A. Ravin（セス A. ラビン）は、当第1四半期について「記録的な収益および顧客請求額を達成しました。また、サブスクリプション売上収益の継続率は、昨年の91%から94%に上昇し、主要な地域事業における販売促進を継続により、当第1四半期中において、当社過去最大規模の販売取引を数件完了することができました。今後も、新規クライアントの獲得および既存クライアントへの新しいサービスの融合的クロスセルを行うために、グローバル・マーケティングによる販売事業の拡大と成熟に引き続き注力して参ります。」とコメントしております。

リミニストリートの最高財務責任者である Michael L. Perica（マイケル L. ペリカ）は、「当第1四半期は、売上総利益率、営業利益、非GAAP営業利益が前年比で増加など、堅調な損益計算書と貸借対照表の実現が叶いました。第1四半期の営業キャッシュフローは4,580万ドルでしたが、1億5,800万ドルを超える現金保有により当期を終了、また最大1,500万ドルの普通株式買戻を実行し、当四半期中に320万ドルの買戻しを完了しました。加えて、当社は、現在約8,600万ドルの元本価値を有するタームローンの1,000万ドルの早期前払いを含む他の金融オプション行使も合わせて検討しています。タームローンには前払い違約金はありません。」と当第1四半期についてコメントしております。

2022年第1四半期の財務ハイライト

以下、当第1四半期主要財務ハイライトとなります：

- 2022年第1四半期の収益は、前年同期の8,790万ドルから11.4%増収の9,790万ドル。
- 米国の収益は、前年同期の4,760万ドルから9.9%増収の5,230万ドル。

- ・ 国際収益は、前年同期の 4,030 万ドルから 13.1%増収の 4,560 万ドル。
- ・ 2022 年第 1 四半期の年間経常収益は、前年同期の 3 億 4,930 万ドルから 10.2%増収の 3 億 8,490 万ドル。
- ・ 2022 年 3 月 31 日現在の顧客数は、2021 年 3 月 31 日の 2,550 社から 13.1%増の 2,884 社。
- ・ 2022 年 3 月 31 日までの 12 ケ月間の収益維持率は、2021 年 3 月 31 日までの前年同期 91%に対し 94%。
- ・ サブスクリプション収益は、前年同期の総収益の 99.4%を占める 8730 万ドルに対して、2022 年 3 月 31 日までの 3 か月間の総収益の 98.3%を占める 9,620 万ドル。
- ・ 2022 年第 1 四半期の売上総利益率は、前年同期の 61.5%に対し 62.0%。
- ・ 2022 年第 1 四半期の営業利益は、前年同期の 190 万ドルに対し 590 万ドル。
- ・ 2022 年第 1 四半期の非 GAAP ベースの営業利益は、前年同期の 930 万ドルに対し 1,210 万ドル。
- ・ 2022 年第 1 四半期の純利益は、前年同期の 360 万ドルの純損失に対し 310 万ドルの純利益。
- ・ 2022 年第 1 四半期の非 GAAP ベースの純利益は、前年同期の 850 万ドルに対し 920 万ドル。
- ・ 2022 年第 1 四半期の調整後 EBITDA は、前年同期の 1,070 万ドルに対し 1,290 万ドル。
- ・ 2022 年第 1 四半期の普通株主に帰属する一株あたりの当期純利益および潜在株式調整後利益は、それぞれ、前年同期の 0.13 ドルの純損失に対し 0.04 及び 0.03 ドルの純利益。
- ・ 2022 年 3 月 31 日時点の従業員数は、前年比 12.0%増の 1,681 人。

本プレスリリース記載の非 GAAP ベースの財務指標を最も直接的に対応する GAAP ベースの財務指標に基づき調整した上記数値詳細は、本プレスリリース末尾の財務諸表に掲載しています。これらの指標の意義に関する当社の見解と計算方法については、英文リリースの「About Non-GAAP Financial Measures and Certain Key Metrics (非 GAAP ベースの財務指標と特定の重要指標について)」をご参照ください。

2022 年第 1 四半期の企業活動のハイライト

- ・ リミニストリートによるサポートへ切り替えた代表的な新規クライアント、またはリミニストリートとの契約を拡張した既存クライアント (1 部抜粋) :
 - ・ Yarra Valley Water オーストラリア、メルボルン最大手の水道公社
 - ・ Staffmark Group 米国の大手人材派遣会社
 - ・ Breastscreen Victoria オーストラリア政府の乳がん検診機関
 - ・ ICTSI フィリピンの港湾運営最大手
- ・ 10,000 件以上のサポート案件を解決し、33 か国、約 18,000 件の税、法律、規制に関するアップデートを提供。
当社のサポート提供に対する顧客満足度の平均評価は、5.0 点満点中 4.9 点 (最高点 5.0 点) を達成
- ・ Oracle、IBM、VMWare のテクノロジーマーケティングのベテランである Jeff Spicer をエグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・マーケティング担当に任命
- ・ 北米地域と南米地域を再編し新たなチームおとして設立。Emmanuel Richard をシニア・バイスプレジデント兼ゼネラル・マネージャーとして任命
- ・ 元 Oracle、IBM、HP、Lenovo のシニア・エグゼクティブである Kevin Hooper が、中央アメリカ地域のグループ・バイスプレジデント兼ゼネラル・マネージャーとして就任
- ・ 韓国リミニストリートは、Seth Ravin が「ベスト CEO 賞」と「女性のベストワークプレイス」を含む Top 100 in Korea Workplace (韓国) を受賞

- 世界中の多数の CIO および IT および調達リーダーのイベントにおける講演を実施
- Rimini Street Foundation は、寄付プログラムを通じて世界中の慈善団体を支援し、当社従業員のコミュニティプロジェクトに参加推進、リミニストリートの本拠地である米国ラスベガスの慈善団体に利益貢献を目的とした「RMNI LOVE \$50,000 Grant Program」を開始

2022 年 事業見通し

当社は、2022 年第 2 四半期の収益見通しを 9,850 万ドルから 9,950 万ドル、2022 年通年の収益見通しを 4 億 200 万ドルから 4 億 1,100 万ドルの範囲と予想しています。

ウェブキャストおよびカンファレンスコールによる当社情報の継続的公開

リミニストリートは、2022 年 5 月 4 日、米国東部標準時午後 5 時、太平洋標準時午後 2 時より、カンファレンスコールおよびウェブキャストを実施し、2022 年第 1 四半期業績と 2022 年第 2 四半期の最新業績について説明しました。本イベントのライブウェブキャストは、リミニストリアートの IR（投資家情報）サイト（<https://investors.riministreet.com>）にて、ご視聴いただけます。当該イベント終了後、ウェブキャストの動画を少なくとも 90 日間公開します。

非 GAAP ベースの財務指標の使用について

本プレスリリースには、「非 GAAP ベースの財務指標」が含まれています。非 GAAP ベースの財務指標は、包括的な会計規則や会計原則に基づくものではありません。この非 GAAP ベースの情報は補足情報として掲載するものであり、GAAP（一般に認められた米国会計原則）で義務付けられる開示要件に則る業績指標の明示を意図するものではありません。非 GAAP ベースの財務指標は GAAP に従って算定された財務指標の追加情報とみなすべきものであり、その代替情報またはそれに優先する情報とみなすべきものではありません。本プレスリリースの財務諸表では、GAAP ベースの数値を非 GAAP ベースで調整した数値で掲載しています。また、「非 GAAP ベースの財務指標と特定の重要指標について」（“About Non-GAAP Financial Measures and Certain Key Metrics”）の項目で、当社の非 GAAP ベース財務指標についてご説明しています。

リミニストリートについて

リミニストリート（Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI)）は、エンタープライズソフトウェア製品およびサービスのグローバル・プロバイダーであり、Oracle および SAP ソフトウェア製品に対する第三者保守サポートにおいて業界をリードしており、また、Salesforce のパートナー企業でもあります。リミニストリートは、高品質で応答性の高い、統合されたアプリケーションマネジメントおよびサポートサービスを提供することで、エンタープライズソフトウェアのライセンスの大幅なコスト削減、技術革新のためのリソースの解放、より良いビジネス成果の達成を可能にします。これまでに、Fortune 500、Fortune Global 100、中堅企業、公共セクター組織等を含む幅広い業界の 4,400 以上の企業および組織が、信頼できるアプリケーション・エンタープライズ・ソフトウェア製品・サービスのプロバイダーとしてリミニストリートを利用しています。詳細は、<http://www.riministreet.com> をご覧ください。また、Twitter (@riministreet)、Facebook、LinkedIn でリミニストリートをフォローしてください。（IR-RMNI）

将来見通しに関する記述

本プレスリリースには、過去に関する事実ではなく、1995年米国民事証券訴訟改革法のセーフハーバー規定に定義する将来見通しに関する記述が含まれています。通常、将来見通しに関する記述には、「かもしれない」、「はずだ」、「だろう」、「計画する」、「意図する」、「予知する」、「考える」、「推定する」、「予測する」、「可能性」、「思われる」、「求める」、「継続する」、「将来」、「～する」、「期待する」、「見通し」などの単語や、その他類似した語句や表現が使用されます。これらの将来見通しに関する記述には、将来の出来事、市場規模、将来的な機会、グローバルでの拡大およびその他の成長に関する取り組み、およびそれら取り組みに対する当社の投資についての期待に関する記述を含みますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な仮定および経営陣の現時点の期待に基づいており、実際の業績を予測するものではなく、過去に関する事実に基づく記述でもありません。これらの記述は、リミニストリートとのビジネスに関連する多くのリスクおよび不確実性に左右されるものであり、実際の結果は大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性としては、次のもの（但しこれらに限定されない）が挙げられます：当社の普通株式買戻しプログラムにおける買戻しの有無、買い戻される株式数とそのタイミング、及び当該プログラムを通して株主価値を上げる能力。信用枠の継続的な債務返済義務、財務制限条項および業務制限条項が当社の事業に与える影響および関連する金利リスク（例えばLIBORの使用廃止および他の金利ベンチマークへの移行による不確実性を含む）。COVID-19のパンデミックとそれに関連する経済的影響が当社の事業に与える業務的、財務的影響、及び長引くパンデミックに対応する政府当局、顧客または他者の対策。特定地域のテロや地政学的行動を含む当社の事業または当社の現在および将来の顧客の事業を混乱させる破局的な出来事。リミニストリートが活動するビジネス環境における変化（リミニストリートが活動する業界に影響を与えるインフレや金利、一般的な財務、経済、規制、および政治的な状況などを含む）。既存訴訟、または新規訴訟における不利な展開。好条件で追加のエクイティ又はデットファイナンスによる資金調達必要性および可能性と当社が成長するための取り組みとして、投資の増加に資金を提供するために、事業からキャッシュフローを生み出す能力。当社の新規信用枠を含む流動性の基準を満たす現金および現金同等物の充足性。財務報告に係る内部統制の有効なシステム維持する能力、および内部統制の重要な弱点を修正する能力。租税法の改正及び当社社が取る税務ポジションの不利な結果を含む法律および規制の改正、または当社が税務上の出来事について適切な引当金を設定できない場合。競合製品と価格設定。増益管理の困難性。将来的に展開することが期待されている製品およびサービスの他、Application Management Services (AMS) を含む直近に発表した製品およびサービスの顧客の採用。リミニストリエットの経営陣の終任。当社が有能な人材を引き付け確保する能力の有無。リミニストリエットの株式の長期的な価値の不確実性。ベンダーが提供するソフトウェア・サポートやマネージド・サービスの契約更新サイクルなど、季節的な動向が業績に与える影響。当社の情報技術システムに対する不正アクセスを防止する能力、当社の従業員や顧客の秘密情報を保護する能力、プライバシーおよびデータ保護規制を遵守する能力の有無。リミニストリートが2022年3月2日に証券取引委員会に提出したリミニストリエットのForm 10Kによる年次報告書の「Risk Factors」に記載しているリスク事項、および適宜それら事項について将来的なForm 10-Kによる年次報告書、Form 10-Qによる四半期報告書、Form 8-Kによる最新の報告書およびリミニストリートが米国証券取引委員会に提出するその他の報告書によって更新される事項。さらに、将来見通しに関する記述には、本プレスリリースの発表時点でのリミニストリエットの将来の事象と展望に関する期待、計画または予測、および考えが示されています。リミニストリートは、後発事象や今後の進展がリミニストリエットの評価を変える原因になると予想しています。ただし、リミニストリートは、これらの将来見通しに関する記述を将来のある時点で更新することを選択する可能性がある一方で、法律で要求されていない限り、そのような義務を明示的に否認いたします。これらの将来見通しに関する記述は、本プレスリリース発表日後の時点におけるリミニストリエットの評価を表すものとして依拠されるべきではありません。

#

© 2022 Rimini Street, Inc. All rights reserved. Rimini Street は、米国およびその他の国における Rimini Street, Inc.の登録商標です。Rimini Street、Rimini Street ロゴ、およびその組み合わせ、その他 TM の付いたマークは、Rimini Street, Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産権を構成するものであり、別段の記載がない限り、Rimini Street は、これらの商標保有者またはここに記載されているその他の企業と提携や協力関係にあるものでも、またそれらを指示するものでもありません。

RIMINI STREET, INC.
Unaudited Condensed Consolidated Balance Sheets
(In thousands, except per share amounts)

ASSETS	March 31, 2022	December 31, 2021
Current assets:		
Cash and cash equivalents	\$ 158,046	\$ 119,571
Restricted cash	419	419
Accounts receivable, net of allowance of \$792 and \$576, respectively	91,288	135,447
Deferred contract costs, current	15,714	14,985
Prepaid expenses and other	17,087	16,340
Total current assets	282,554	286,762
Long-term assets:		
Property and equipment, net of accumulated depreciation and amortization of \$13,869 and \$13,278, respectively	4,519	4,435
Operating lease right-of-use assets	12,498	12,722
Deferred contract costs, noncurrent	23,107	21,524
Deposits and other	1,760	1,786
Deferred income taxes, net	63,358	64,033
Total assets	\$ 387,796	\$ 391,262
LIABILITIES, REDEEMABLE PREFERRED STOCK AND STOCKHOLDERS' DEFICIT		
Current liabilities:		
Current maturities of long-term debt	\$ 3,664	\$ 3,664
Accounts payable	3,620	5,708
Accrued compensation, benefits and commissions	37,327	36,558
Other accrued liabilities	22,451	26,124
Operating lease liabilities, current	4,482	4,227
Deferred revenue, current	248,503	253,221
Total current liabilities	320,047	329,502
Long-term liabilities:		
Long-term debt, net of current maturities	78,770	79,655
Deferred revenue, noncurrent	51,526	47,047
Operating lease liabilities, noncurrent	11,900	12,511
Other long-term liabilities	2,852	2,933
Total liabilities	465,095	471,648
Stockholders' Deficit:		
Preferred Stock, \$0.0001 par value. Authorized 99,820 shares (excluding 180 shares of Series A Preferred Stock); no other series has been designated	—	—
Common Stock, \$0.0001 par value. Authorized 1,000,000 shares; issued and outstanding 87,011 and 87,107 shares, respectively	9	9
Additional paid-in capital	149,420	149,234
Accumulated other comprehensive loss	(2,910)	(2,724)
Accumulated deficit	(225,702)	(225,789)
Treasury stock, at cost	(1,116)	(1,116)
Total stockholders' deficit	(77,299)	(80,386)
Total liabilities and stockholders' deficit	\$ 387,796	\$ 391,262

RIMINI STREET, INC.
Unaudited Condensed Consolidated Statements of Operations
(In thousands, except per share amounts)

	Three Months Ended	
	March 31,	
	2022	2021
Revenue	\$ 97,910	\$ 87,895
Cost of revenue	37,207	33,836
Gross profit	60,703	54,059
Operating expenses:		
Sales and marketing	31,700	30,383
General and administrative	19,951	16,603
Impairment charges related operating right of use assets	—	393
Litigation costs and related recoveries:		
Professional fees and other costs of litigation	3,499	4,763
Insurance costs and recoveries, net	(389)	—
Litigation costs and related recoveries, net	3,110	4,763
Total operating expenses	54,761	52,142
Operating income	5,942	1,917
Non-operating income and (expenses):		
Interest expense	(808)	(47)
Loss on change in fair value of redeemable warrants	—	(4,668)
Other income, net	209	772
Income (loss) before income taxes	5,343	(2,026)
Income tax expense	(2,256)	(1,550)
Net income (loss)	\$ 3,087	\$ (3,576)
Net income (loss) attributable to common stockholders	\$ 3,087	\$ (9,845)
Net income (loss) per share attributable to common stockholders:		
Basic	\$ 0.04	\$ (0.13)
Diluted	\$ 0.03	\$ (0.13)
Weighted average number of shares of Common Stock outstanding:		
Basic	87,124	78,733
Diluted	88,485	78,733

RIMINI STREET, INC.
GAAP to Non-GAAP Reconciliations
(In thousands)

	Three Months Ended	
	March 31,	
	2022	2021
Non-GAAP operating income reconciliation:		
Operating income	\$ 5,942	\$ 1,917
Non-GAAP adjustments:		
Litigation costs and related recoveries, net	3,110	4,763
Stock-based compensation expense	3,051	2,233
Impairment charges related to operating right-of-use assets	—	393
Non-GAAP operating income	<u>\$ 12,103</u>	<u>\$ 9,306</u>
Non-GAAP net income reconciliation:		
Net income (loss)	\$ 3,087	\$ (3,576)
Non-GAAP adjustments:		
Litigation costs and related recoveries, net	3,110	4,763
Loss on change in fair value of redeemable warrants	—	4,668
Stock-based compensation expense	3,051	2,233
Impairment charges related to operating right-of-use assets	—	393
Non-GAAP net income	<u>\$ 9,248</u>	<u>\$ 8,481</u>
Non-GAAP Adjusted EBITDA reconciliation:		
Net income (loss)	\$ 3,087	\$ (3,576)
Non-GAAP adjustments:		
Interest expense	808	47
Income tax expense	2,256	1,550
Depreciation and amortization expense	577	584
EBITDA	<u>6,728</u>	<u>(1,395)</u>
Non-GAAP adjustments:		
Litigation costs and related recoveries, net	3,110	4,763
Loss on change in fair value of redeemable warrants	—	4,668
Stock-based compensation expense	3,051	2,233
Impairment charges related to operating right-of-use assets	—	393
Adjusted EBITDA	<u>\$ 12,889</u>	<u>\$ 10,662</u>
Billings:		
Revenue	\$ 97,910	\$ 87,895
Deferred revenue, current and noncurrent, as of the end of the period	300,029	249,997
Deferred revenue, current and noncurrent, as of the beginning of the period	300,268	256,933
Change in deferred revenue	<u>(239)</u>	<u>(6,936)</u>
Billings	<u>\$ 97,671</u>	<u>\$ 80,959</u>

About Non-GAAP Financial Measures and Certain Key Metrics

To provide investors and others with additional information regarding Rimini Street's results, we have disclosed the following non-GAAP financial measures and certain key metrics. We have described below Active Clients, Annualized Recurring Revenue and Revenue Retention Rate, each of which is a key operational metric for our business. In addition, we have disclosed the following non-GAAP financial measures: non-GAAP operating income, non-GAAP net income, EBITDA, adjusted EBITDA and Billings. Rimini Street has provided in the tables above a reconciliation of each non-GAAP financial measure used in this earnings release to the most directly comparable GAAP financial measure. Due to a valuation allowance for our deferred tax assets, there were no tax effects associated with any of our non-GAAP adjustments. These non-GAAP financial measures are also described below.

The primary purpose of using non-GAAP measures is to provide supplemental information that management believes may prove useful to investors and to enable investors to evaluate our results in the same way management does. We also present the non-GAAP financial measures because we believe they assist investors in comparing our performance across reporting periods on a consistent basis, as well as comparing our results against the results of other companies, by excluding items that we do not believe are indicative of our core operating performance. Specifically, management uses these non-GAAP measures as measures of operating performance; to prepare our annual operating budget; to allocate resources to enhance the financial performance of our business; to evaluate the effectiveness of our business strategies; to provide consistency and comparability with past financial performance; to facilitate a comparison of our results with those of other companies, many of which use similar non-GAAP financial measures to supplement their GAAP results; and in communications with our board of directors concerning our financial performance. Investors should be aware however, that not all companies define these non-GAAP measures consistently.

Billings represents the change in deferred revenue for the current period plus revenue for the current period.

Active Client is a distinct entity that purchases our services to support a specific product, including a company, an educational or government institution, or a business unit of a company. For example, we count as two separate active clients when support for two different products is being provided to the same entity. We believe that our ability to expand our active clients is an indicator of the growth of our business, the success of our sales and marketing activities, and the value that our services bring to our clients.

Annualized Recurring Revenue is the amount of subscription revenue recognized during a fiscal quarter and multiplied by four. This gives us an indication of the revenue that can be earned in the following 12-month period from our existing client base assuming no cancellations or price changes occur during that period. Subscription revenue excludes any non-recurring revenue, which has been insignificant to date.

Revenue Retention Rate is the actual subscription revenue (dollar-based) recognized over a 12-month period from customers that were clients on the day prior to the start of such 12-month period, divided by our Annualized Recurring Revenue as of the day prior to the start of the 12-month period.

Non-GAAP Operating Income is operating income adjusted to exclude: litigation costs and related recoveries, net, stock-based compensation expense and impairment charge related to operating right-of-use assets. The exclusions are discussed in further detail below.

Non-GAAP Net Income is net income adjusted to exclude: litigation costs and related recoveries, net, loss on change in fair value of redeemable warrants, stock-based compensation expense and impairment charge related to operating right-of-use assets. These exclusions are discussed in further detail below.

Specifically, management is excluding the following items from its non-GAAP financial measures, as applicable, for the periods presented:

Litigation Costs and Related Recoveries, Net: Litigation costs and the associated insurance and appeal recoveries relate to outside costs of litigation activities. These costs and recoveries reflect the ongoing litigation we are involved with, and do not relate to the day-to-day operations or our core business of serving our clients.

Loss on Change in Fair Value of Redeemable Warrants: We have excluded the gains and losses on redeemable warrants related to the change in fair value of these instruments given the financial nature of this fair value requirement. We are not able to manage these amounts as part of our business operations nor are the costs core to servicing our clients and therefore we have excluded them.

Stock-Based Compensation Expense: Our compensation strategy includes the use of stock-based compensation to attract and retain employees. This strategy is principally aimed at aligning the employee interests with those of our stockholders and to achieve long-term employee retention, rather than to motivate or reward operational performance for any particular period. As a result, stock-based compensation expense varies for reasons that are generally unrelated to operational decisions and performance in any particular period.

Impairment Charges Related to Operating Lease Right-of-Use Assets: This relates to an impairment charge related to our leased assets for a portion of one of our locations as we no longer use the space.

EBITDA is net income adjusted to exclude: interest expense, income tax expense, and depreciation and amortization expense.

Adjusted EBITDA is EBITDA adjusted to exclude: litigation costs and related recoveries, net, gain (loss) on change in fair value of redeemable warrants, stock-based compensation expense and impairment charge related to operating right-of-use assets, as discussed above.

Investor Relations Contact

Dean Pohl
Rimini Street, Inc.
+1 925 523-7636
dpohl@riministreet.com

Media Relations Contact

Vikki Hansen
Rimini Street, Inc.
+1 708 556-3185
mmcglocklin@riministreet.com